

信州大学医学部附属病院 精神科に  
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ  
当科における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024 年 11 月 27 日

「精神科病棟におけるポリファーマシー対策の診療インパクトの定量的評価」に関する臨床研究を実施しています。

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

|           |                                                                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 倫理審査承認番号  |                                                                                                  |
| 研究課題名     | 精神科病棟におけるポリファーマシー対策の診療インパクトの定量的評価                                                                |
| 所属(診療科等)  | 信州大学医学部附属病院 薬剤部                                                                                  |
| 研究責任者(職名) | 内藤隆文(教授・薬剤部長)                                                                                    |
| 研究実施期間    | 2024 年 11 月 27 日～2029 年 3 月 31 日                                                                 |
| 研究の意義、目的  | 精神科におけるポリファーマシー対策の効果を定量的にとらえる。得られた結果をもとにポリファーマシー対策の進め方を明らかにし、患者の処方内容の適正化へ貢献する。                   |
| 対象となる方    | 2024 年 9 月 1 日～2027 年 8 月 31 日までの期間に当院精神科に入院し、薬剤総合評価調整加算の算定を受けた患者                                |
| 利用する診療記録  | 持参薬の種類、退院時の処方内服薬の種類、診療報酬算定状況(薬剤総合評価調整加算・薬剤調整加算、病棟薬剤業務実施加算、薬剤管理指導、退院時薬剤情報管理指導料)、入院診療コスト(薬剤費、材料費)等 |
| 研究方法      | 診療記録より上記の内容を収集し、ポリファーマシー対策の効果を定量的にとらえ、精神科病棟におけるポリファーマシー対策の進め方を明らかにする。                            |
| 共同研究機関名   | 本研究は、信州大学のみで実施されます。                                                                              |
| 問い合わせ先    | 氏名(所属・職名): 信州大学医学部附属病院 薬剤部 寺澤美穂<br>電話: 0263-37-3022                                              |

診療記録(カルテ情報)を研究、調査、集計しますので、新たな診察の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみ集計します。研究結果は今後の医学の発展に役立つように学会や学術雑誌等で発表しますが、患者様を特定できる個人情報は利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。